

みんなで創ろう！人が輝く元気とやま



県広報 とやま

8

2017 AUGUST
No.476

「古楽アンサンブルユニット「アンサンブル30」は、古楽器を用いた音楽の素晴らしさを富山から発信するグループ。現在約20名のメンバーが活動しています。代表の安岡厚子さん（チェンバロ・オルガン奏者）を中心に全国からもプロの演奏家が集まり、平成24年から富山市呉羽の梨畑の真ん中に練習場を設け、そこから「梨ばろっこ」と名付けた本格的なコンサートを続けています。

18世紀以前、ルネサンスやバロック時代の音楽を古楽器で演奏することを一般的に古楽と呼んでいます。古楽器はその頃に使われていた楽器を復元したものです。「当時生まれた曲を、当時の楽器による演奏で聴くことができ、曲の本来の魅力をより感じるができます」と安岡さんはその魅力を話します。

昨年、新たな発想で地域の活性化を図る事業を県が支援する「NPO 未来創生県民協働事業」に採択され、砺波高校合唱部を交えて「梨ばろっこ2016」を開催。この経験で手応えをつかみ、今年5月にはクラウドファンディング[※]などを活用して「梨ばろっこ2017」を開催しました。「バッハ『ミサ曲口短調』全曲は、いつかはやってみたかった演奏会。念願がかないました」と安岡さん。今後も県内各地で梨ばろっこコンサートを開催する予定で、これからも、古楽器の魅力を伝え、富山に住む人の「心の元気」をはぐくみ、富山に音楽文化を広めていきたいと考えています。

[※] インターネットを通じて資金を集める仕組み



今年5月7日に富山市民プラザ アンサンブルホールで行われた、バッハ『ミサ曲口短調』全曲演奏会



代表の安岡厚子さん

古楽器が奏でる 音楽の魅力を、富山から。

古楽アンサンブルユニット「アンサンブル30」

古楽が富山県の魅力のひとつになればうれしい。富山には古楽を受け入れる土壌があると感じています。



元気いっぱい！ とやまにぎやかファミリー

岡本さんご一家
(滑川市)

徳満さんご一家
(富山市)



パパママコメント
4人目の愛娘の
1才の誕生日です



パパママコメント
家族みんなでにぎやかな日々を
過ごしています。

* 第4子以上のお子さんが生まれたご家庭をご紹介します *

とやま Made in Toyama 物語



キョウリョウ
久乗おりんは平成27年度に「明日のとやまブランド」に選定。デザイン性の高いインテリアとして注目されている。同社のほか、県内外の取扱店で販売中。(写真は商品シリーズの1つである「ことりん」。大きさは手のひらサイズ。)

暮らしのあらゆるシーンに安らぎの音を

山口久乗は、明治40年の創業以来、仏具の制作を行っている。「久乗おりん」は、現代のライフスタイルにマッチした、音を楽しむくらしの道具として開発され、その音は北陸新幹線新高岡駅の発車音などにも採用されている。「おりんの音には不思議な魅力があります。様々な形で現代の暮らしに安らぎの音を届けられるよう、商品開発に取り組んでいきたいですね」と、山口さんは夢を膨らませる。



株式会社 山口久乗 (高岡市)
専務取締役 山口康多郎さん

特集

8月26日(土)
全面開館
(一般公開は13時より)

アートとデザインをつなぐ、 世界で初めての美術館

オープンが
待ち遠しいね！



富山県美術館(略称「TAD(タッド)」)が、いよいよ8月26日(土)に全面開館します。前身の近代美術館は、20世紀美術の流れを展望できる美術館を目指すという開館当初の理念のもと、世界に誇れるコレクションの収集・展示に加え、デザインの重要性をいち早く認め、企画展を開催してきました。富山県美術館はこの理念を継承し発展させるとともに、アートとデザインの関係を見直し、両者をつなぐ場を提供していきます。展示会のスタートにあわせ、改めて富山県美術館の魅力をお伝えします。



「ぐるぐる」で遊ぶ子ども達 夜間は遊具をライトアップ ワークショップの様子

展覧会

アートとデザインを感じられる様々な展覧会を開催します。開館記念第1弾は、古今東西の多くの芸術家が追及した「LIFE」をテーマに、国内外の名画、優品約170点を人生になぞらえて展示します。

第2弾は、文化庁と北陸三県が協力し、「KOGEEI文化」の魅力を発信するイベント「国際北陸工芸サミット」と同時開催し、国内外の工芸作品を展示します。

第3弾は、NHK Eテレで放送中の「デザインあ」とコラボし、子どもたちの「デザインマインド」を育む展覧会を開催します。

創作体験

アトリエでは、ワークショップ(体験型講座)を開催し、遊び感覚で気軽に参加できる

グスタフ・クリムト

《人生は戦いなり(黄金の騎士)》1903年 愛知県美術館蔵



岡本太郎 《傷ましき腕》 1936/1949年 川崎市岡本太郎美術館蔵

「オープンラボ」からアーティストを講師とした本格的な講座まで多彩なプログラムがあります。あなたも「来て、見て、感じて、つくって」みませんか？

オノマトペの屋上

4月に開園し、連日多くの子ども達で賑わっています。大人気の「ふわふわドーム」に加え「ぐるぐる」「あれあれ」「ひそひそ」「つるつる」「うとうと」「ぶりぶり」「ぼこぼこ」を合わせた8種類の遊具は、カラフルで見ているだけでも楽しくなります。また、富岩運河環水公園を眼下にのぞみ、その向こうに雄大な立山連峰が広がる眺望は、富山の新たなビュースポットとして楽しんでいただいています。

全面開館に向けて

県民の皆さんはもちろん、観光客も含め多くの方々に、来館ごとに発見を期待していただける企画を展開していきます。



3階から立山連峰をのぞむ

● 全面開館記念イベント ●

- 8月26日(土)
14:00~14:30 記念コンサート
15:00~16:00 記念トークイベント(要事前申込)
16:30~17:30 ライブパフォーマンス
- ※準備のため、前日(25日)臨時休館。当日(26日)は13:00から開館(但し、屋上庭園、レストラン、カフェ、駐車場は前日、当日とも通常どおり営業)

● 展覧会スケジュール ●

- 8月26日(土)13:00~11月5日(日)
開館記念展Part1「LIFE—楽園をもとめて」
【関連イベント】
○8月26日(土)13:15~13:45
パン人間@TADパフォーマンス
○8月27日(日)10:30~11:00、14:00~14:30
学芸員によるギャラリートーク
- 11月16日(木)~平成30年1月8日(祝・月)
開館記念展Part2「素材と対話するアートとデザイン」
国際北陸工芸サミット「ワールド工芸100選」
- 平成30年1月20日(土)~3月4日(日)
「START☆みんなのミュージアム」
- 平成30年3月21日(祝・水)~5月中旬
開館記念展Part3「デザイン展」

● ワークショップスケジュール ●

- 【TADワークショップ「人物を描く」】
日時:9月16日(土)、9月17日(日)9:30~17:00
講師:藤森兼明氏(当館収蔵作家)
場所:アトリエ/対象:高校生以上
定員:30名(応募多数の場合は抽選)

富山県美術館の見どころ

■ TADロゴマーク

制作者:永井一正氏
グラフィックデザイナー
マークはTOYAMAの頭文字Tを、AとDで構成した形。アートとデザインをつなぐ場を表現しています。明るいブルーは白く輝く立山が映える空を、濃いブルーは深く豊かな富山湾を表現し、富山の美しさを内包しています。マークと館名を上下に配置することで縦のフォルムを強調し、デザイン的な美しさを際立たせています。



富山県美術館
アート&デザイン



ポスタータッチパネル
タッチパネルで好きな作品を大きく表示するなど、大型ディスプレイで自由に楽しめます。



3Dドローイング
体の動きで光のアートを作り出す「インタラクティブアート」を体験できます。



屋外展示
「ANIMALS」で知られる彫刻家、三沢厚彦氏のクマをモチーフにした作品に注目。その他、マリノ・マリーニの作品なども展示します。



レストラン
「日本橋たいめいけん」東京の人気洋食店が地方初出店。富山の食材を使ったオムライスのほか、富山店でしか味わえないオリジナルメニューも登場します。



カフェ「Swallow Cafe」
県産食材にこだわったサラダやスープ、ペーグルのほか、オリジナルスイーツが楽しめます。



ミュージアムショップ
アートやデザインをキーワードに文具や雑貨、専門書のほか、美術館オリジナルグッズが並びます。

Interview



富山県美術館の 全面開館に寄せて

ボランティア代表
谷内 美江子

現在、ボランティアは約100名。3つのグループで、コレクション展や施設の案内、アトリエ活動のお手伝いやキッズルームの利用案内、チラシや図書コーナーの整理などの活動をしています。今後は、より多くの来館者が予想され、ボランティアにも幅広い役割と柔軟な対応が求められていると感じます。来館者の心に残るよう、また来たいと思ってもらえるよう、美術館と来館者をつなげるお手伝いをしていきたいと思っています。

富山県美術館(TAD)

〒930-0806 富山市木場町3-20(富岩運河環水公園内)
TEL.076-431-2711 FAX.076-431-2712
http://tad-toyama.jp/

	利用時間	休館日
美術館	9:30~18:00	毎週水曜日(祝日除く)、祝日の翌日、年末年始
オノマトペの屋上	8:00~22:00	12月1日~3月15日

少子高齢化の進行に伴い、生産年齢人口が減少するなか、富山県が、魅力と活力にあふれ、持続的に発展していくためには、若者や女性、高齢者など、誰もが意欲や能力に応じて活躍できる環境づくりを進めることが大変重要です。県では、働き方改革を県民運動として展開するため、様々な取り組みを進めていきます。

県民運動の展開

県ではこれまで、仕事と子育ての両立支援や働きやすい雇用環境を整備するため、特別保育や学童保育の充実を図るとともに、子育て支援・少子化対策条例により、従業員の仕事と子育てに関する「一般事業主行動計画」の策定を義務付ける企業の範囲を法律よりも大幅に拡大するなど、積極的に取り組みを進めてきました。

さらに、平成29年度は、働き方改革を県民運動として推進するため、経済団体や労働団体、有識者で構成する「とやま県民活躍・働き方改革推進会議」を設置し、6月に第1回会議を開催しました。今後、企業経営者向けの働き方改革セミナーの開催、女性の活躍を推進するための調査の実施などに取り組みます。

■次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定

企業規模	H21.3	H29.3	H31目標
従業員101人～企業(法律義務)	36.5%	99.1%	100.0%
51～100人企業(条例義務)	13.8%	94.6%	極力100%
30～50人企業(H29.4から条例義務)	-	72.4%	極力100%

ナーの開催、女性の活躍を推進するための調査の実施などに取り組みます。

企業子宝率調査の実施

県では、平成28年度に初めて企業子宝率調査を実施し、企業子宝率(※)が高く、仕事と子育てを両立できる職場づくりに成果を上げている企業をモデル企業として表彰しました。モデル企業の取組を紹介することにより、両立支援に関する意識醸成や取組みの推進につなげていきます。29年度も調査を実施しますので、ぜひご協力をお願いします。



「子宝モデル企業」表彰式

※男女を問わず従業員が企業に在職中にもつことが見込まれる子どもの数のことで、企業の子育てのしやすさが分かりやすく示される指標

■調査期間 実施中～8月31日(木)

■調査対象 常用雇用者10人以上の企業

■参加方法

県ホームページから書式をダウンロードいただくか、少子化対策・県民活躍課までご連絡ください。

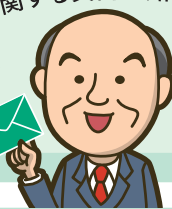
※一部対象企業には、調査票等を送付済みです。

「イクボス企業同盟とやま」の設立

男女がともに仕事と家庭の両立が可能な職場環境づくりを推進するため、平成29年7月に県内企業や自治体等のトップによる「イクボス企業同盟とやま」を設立しました。

県政 Q&A

県政に関する質問に知事が答えます!



Q 県では、ボランティア団体やNPOとの協働を推進するため、どのような取組みを行っているのか、お聞かせください。

A 県内では、福祉、まちづくりやスポーツなど様々な分野でボランティア・NPO等による自主的な活動が活発に行われており、地域づくりや公共サービスの新たな担い手として期待が高まっています。こうした中、県では、県民ボランティア総合支援センターや県・市社会福祉協議会と連携して活動を支援するほか、様々な協働事業に取り組みんでいます。

平成29年度は、「NPO・県民協働未来創生事業」により、県内のボランティア団体等による、新たな発想でとやまの未来を創出し、地域の活性化を図る取組みを支援しているほか、「NPOと企業との協働推進事業」により、地域貢献に繋がる取組みを支援しています。現在も取組みを募集していますので、ぜひご応募ください(平成29年9月1日(金)締切)。

今後とも、ボランティア団体等との協働を推進し、県民参加による多様な公共サービスの提供や魅力ある地域づくりに取り組んでまいります。

県庁も働き方改革

また、県においても、県庁が率先して働き方改革を推進するため、平成29年5月に「富山県庁働き方改革推進チーム」を設置し、時間外勤務縮減などの方策を検討するとともに、定時退庁カードの実施など、様々な取組みを進めています。

さらに、多様な働き方の支援として29年度から、タブレット端末を活用したモバイルワーク(※)を試行的に導入したほか、在宅型テレワーク(※)や夏の朝型勤務制度の拡充などを行い、業務の効率化や行政サービスの質の向上、仕事と子育てや介護等の両立に取り組んでいます。今後、職員が個々の資質や能力を最大限発揮できる環境を整備し、県民の皆さんの多様なニーズに適切に対応できるように、一層取り組んでいきます。



「イクボス企業同盟とやま」設立式

働き方改革

県民誰もが活躍できる環境づくりの推進

特集



モバイルワーク

タブレット端末

※1 訪問先での説明等でタブレット端末を活用する働き方
※2 インターネット等を活用して自宅で仕事をする働き方



県庁



在宅型テレワーク

PC

県内おでかけ情報

料金の()内は20名以上の団体料金



富山県美術館

開館記念展 Part 1

「生命と美の物語 LIFE—楽園をもとめて」

- 期間** 8月26日(土)～11月5日(日)まで
- 時間** 9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)
※8/26は13:00～
- 料金** 一般1,300円(1,000円)、大学生950円(750円)
一般前売り1,000円、小中高生無料

「生命(LIFE)」をテーマに、ルノワールなどの印象派からクリムト、シーレなどのウィーン世紀末美術、ピカソ、シャガールなどの20世紀のモダンアート、青木繁、下村観山などの日本近代絵画、折元立身、三沢厚彦などの現代のアートまで、各国の名品約170点を展示します。



◎富山市木場町3-20 TEL.076-431-2711
http://tad-toyama.jp/

水墨美術館

天下人・徳川家康と尾張徳川家の至宝

- 期間** 開催中～8月20日(日)まで
- 時間** 9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)
- 料金** 一般 1200円(900円)、大学生 900円(650円)
小中高生無料

徳川家康は、天下人として徳川幕府260年の礎を築きました。数多くの刀剣・武器・茶の湯道具・衣類など岐にわたるその遺産は、多くが名古屋市の徳川美術館に引き継がれ、コレクションの根幹となり輝かしい天下人の姿を今に伝えます。本展では、同館所蔵品から至宝の数々約100点を展示し、家康と尾張徳川家の歴史や華やかな文化を紹介いたします。



◎富山市五福777 TEL.076-431-3719
http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm

立山博物館

前期特別企画展「うば尊を祀る」

- 期間** 開催中～8月27日(日)まで
- 立山の「山の神」として集落の人々から信仰されていった芦崎寺集落のうば尊信仰が立山信仰に与えた影響などについて紹介します。



布橋灌頂会開催記念展「布橋灌頂会がわかる!!」

- 期間** 9月5日(火)～10月9日(月・祝)まで
- 9月24日に布橋灌頂会の再現イベントが開催されるのにあたり、布橋灌頂会の歴史と文化をわかりやすく紹介します。

- 料金** 一般 200円(160円)、大学生 160円(120円)
小中高生無料
- 時間** 9:30～17:00(観覧受付は16:30まで)

◎立山町芦崎寺93-1 TEL.076-481-1216
http://www.pref.toyama.jp/branches/3043/home.html

富山県子どもみらい館

夏のクラフトランド

- 期間** 開催中～9月3日(日)まで
- 時間** 受付10:00～16:00
- 料金** 材料代 100円～300円

- ムシホンダク／木で好きな虫を作ります。
- 経木でつくるうちわ／経木とカットイングシートでうちわを作ります。
- デコレートカー／段ボールで車を作ります。



大工さんと作ろう!!

- 期間** 8月20日(日) 受付10:00～15:00
- 椅子やコーナーラックなどを大工さんと一緒に作ります。

ウォーターアドベンチャーワールド

- 期間** 8月11日(金・祝)～13日(日)まで
- 屋上で、水を使っていろいろな遊びをします。



◎射水市黒河4774-6 県民公園太閤山ランド内
TEL.0766-56-9000 http://www.kodomo-miraikan.com/

県政の動き

最近の動き

- 6月**
 - 1 第1回「立山黒部」世界ブランド化推進会議
 - 9 県議会定例会(～27日)
 - 14 第1回とやま県民活躍・働き方改革推進会議
- 7月**
 - 2 第24回富山県民歩こう運動推進大会
 - 4 第1回女性の活躍推進委員会

- 7月**
 - 6 富山県・ロシア沿海地方友好提携25周年記念友好訪問団の派遣(～9日)
 - 22 富山県リハビリテーション病院・子ども支援センターグランドオープン

今後の予定

- 8月**
 - 21 (独)医薬品医療機器総合機構北陸支部設立1周年記念シンポジウム
 - 25 SCOTサマー・シーズン(～9月10日利賀芸術公園)
 - 26 富山県美術館全面開館
- 9月**
 - 9 とやまっ子みらいフェスタ(小矢部市)
 - 16 食品ロス・食品廃棄物削減シンポジウム in とやま

TOPICS

1 知事のタウンミーティング(新総合計画)の開催について **参加無料**

県では、富山県の新たな飛躍、発展を目指し、「とやま新時代」にふさわしい県づくりの取組みを進めるため、新しい総合計画の策定を進めています。策定に向け、知事が県政の取組みをご説明し、ご意見を伺いますので、ぜひご参加ください。

- 新川会場(魚津市):8月20日(日)14:00～16:00(開場13:30) ホテルグランミラージュ
- 県西部会場(高岡市):9月2日(土)14:00～16:00(開場13:30) 高岡市ふれあい福祉センター
- 富山会場(富山市):9月17日(日)14:00～16:00(開場13:30) 富山県民会館

□定員:200名(先着順) □臨時保育室、手話通訳有

◎問合せ先 県広報課 TEL:076-444-8909

2 本県と岐阜県とは、東海北陸自動車道が全線開通した7月5日を「富山・岐阜交流の日」と定め、さまざまな分野での交流を進めています。ぜひ岐阜県にお出かけください。

富山県と岐阜県飛騨地域の高速道路が2日間または3日間乗り降り自由となる「速旅 飛騨・富山ドライブプラン」

岐阜県内の高速道路が2日間乗り降り自由となる「快走G(ギフ)割!岐阜県周遊ドライブプラン」

今年のギフの夏は、お得なキャンペーンが盛りだくさん!

さらに、この「快走G(ギフ)割!岐阜県周遊ドライブプラン」を利用すると、お得なサービスを受けられる宿泊プランやクーポンラリーもあります。

キャンペーンの詳細はホームページで。 **ぎふの旅ガイド** **検索**

◎問合せ先 岐阜県観光企画課 TEL:058-272-8393

元気レシピ

夏野菜の和風ラタトゥイユ



ラタトゥイユは、フランス南部に伝わる野菜の煮込み料理。一皿で野菜をたっぷりおいしくいただけます。

- | 【材料・分量(2人分)】 | 1人分約187kcal |
|-----------------|-----------------|
| 豚ひき肉……………60g | ズッキーニ……………1/4本 |
| ピーマン……………1個 | しょうが……………1/4かけ |
| たまねぎ……………1/2個 | にんにく……………1/2かけ |
| かぼちゃ……………120g | オリーブ油……………大さじ1 |
| 完熟トマト……………1個 | しょうゆ……………大さじ1/2 |
| (トマトの水煮缶1個でもよい) | 砂糖……………大さじ1/2 |
| なす……………1本 | 塩・こしょう……………少々 |

*作り方*①ピーマン、たまねぎは2cm角に切る。かぼちゃ、トマトは大きめの一口大に切る。なす、ズッキーニはへたを除き、2cm厚さの半月切りにする(しま模様は皮をむいてもよい)。しょうが、にんにくはみじん切りにする。②鍋にオリーブ油を入れ、しょうが、にんにくを焦がさないように炒めて香りを出し、ひき肉を加えて炒める。③②に①の野菜とAを入れて20分くらい煮る(弱火)。④塩、こしょうで味を整える。
<協力>小矢部市食生活改善推進協議会

富山県では、健康寿命日本一を目指しています。健康寿命をのばすため、正しい生活習慣、食習慣を心がけましょう。詳しくは **とやま健康ラボ** **検索**

県政クイズ



○の中に言葉を入れてください。(ヒントは「特集1」にあります。)
「アートと○○○○をつなぐ、世界で初めての美術館」、
富山県美術館が全面開館します。

正解者の中から10名の方に、「開館記念展Part1 生命と美の物語 LIFE—楽園をもとめて」ペア招待券をプレゼント

はかきにクイズの答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢と本紙の感想を記載し、下記まで。当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。※ご記入いただいた個人情報は、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計とプレゼント発送にのみ利用します。

宛先/〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま8月号クイズ係」 ●締切8月21日(月)必着



県広報とやま
次回発行は
10月だよ!



◆県広報とやまに関するご連絡、ご質問はこちら
〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課
TEL.076-444-3134 FAX.076-444-3478
E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください
http://www.pref.toyama.jp/form.html

「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折込により各家庭にお届けし、県の各施設や市役所・町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しています。また、本号とバックナンバーは、広報課のホームページで閲覧できます。

●広報課ホームページhttp://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1118/

平成29年8月6日発行 企画・発行 富山県経営管理部広報課(富山市新総曲輪1番7号) 編集協力(株)チューエツ
※「県広報とやま」は環境に配慮し、植物性大豆インキと再生紙を使用しています。※下記の広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。なお、広告の掲載については、(株)ホープ(TEL.092-716-1404)までお問い合わせください。

アプリ「マチイロ」

無料アプリ「マチイロ」では、スマートフォンやタブレットで広報紙をご覧いただけます。

